

日 本 教 師 会



第59回 教育研究大会

期 日 令和元年8月3日(土)～4日(日)
会 場 ハートフルスクエアG
主 催 日本教師会
主 管 岐阜県教育懇話会 後 援 岐阜市教育委員会

研究主題

新しい時代を切り拓く 国民教育の在り方を求めて

【主題設定の趣旨】

令和の御代が始まった。多くの国民が新たな元号を支持し、これからの時代に明るい希望をいだいた。その時代を切り拓き、実現していくのは今を生きる子供たちである。彼らにどのような教育をすべきか、我々は問われている。

時あたかも、小学校において来年より新学習指導要領が全面实施され、中学校がそれに続く。目指すところは変化の激しい時代を主体的に乗り切る日本人の育成である。それには「生きる力」として、①「基礎的・基本的な知識及び技能」を身につけ、②これらを活用して課題を解決するための、「思考力、判断力、表現力」、そして、③「主体的に学習に取り組む力や人間性」が必要とされている。これらは解き方の決まった問題を効率的に解く学習では身につかず、自ら問題を見つけ、必要な情報を集め、他と協力して解決を図るアクティブラーニングが必要とされる。そのため「主体的、対話的な深い学び」ができるよう授業改善を図ることを求められている。

こうした将来を見据えた教育は確かに必要ではある。しかし、日本の子供たちは自己肯定感が低く、不登校の児童生徒が増加しているなど、「生きる力」が育つていないと言えない実態がある。「生きる力」は平成十年の学習指導要領から一貫して重要な目標とされてきたが、再検討すべきではないか。これまでその中身として先の三点のように説明されてきた。改善の鍵となるのは③で、子供たちの主体性や意欲といった活力を生み出す源は何かということである。

本会は発足以来、歴史と文化・伝統に基づく日本人の育成を求めてきた。

学習指導要領に対しても、我が国の長い歴史の中で育んできた日本人の心を養い、誇りと自信を持たせることを提言してきた。「生きる力」とは「日本人として生きる力」であって民族の活力を甦らせるべきと考える。

今日、我が国をとりまく国際社会は厳しさを増している。その中で安定した国として国際社会に貢献していくためにも、心豊かでたくましい日本人を育成していかなければならない。そのためには真の国民教育の樹立が急務である。

本大会では、各自が実践し、求めてきた国民教育の在り方を交流、確認し合い、教師としての識見と実践力の向上につながるよう研修していきたい。

日本教師会第59回教育研究大会実施要項

一、期 日 令和元年八月三日（土）午後一時～四日（日）午前十一時三十分

二、会 場 ハートフルスクエアG（JR岐阜駅構内）二階 中研修室

〒五〇〇一八五二二 岐阜市橋本町一丁目一〇一三三 TEL〇五八―二六八一―〇五〇

三、宿 泊 ホテルイルクレド、東横イン、A Bホテル、喜美恵旅館

四、研究主題 「新しい時代を切り拓く国民教育の在り方」

五、日 程

第一日目
八月三日

第二日目
八月四日

9:00 特別講演	12:30 開場・受付
10:00 実践発表③	13:00 開会式
10:40 総括	13:20 記念講演
11:00 閉会式	15:00 実践発表①
11:30 解散	15:40 実践発表②
12:00 ※昼食	16:20 講評
	16:30 総会
	17:00 移動・check-in
	17:30 集合・移動
	18:00 ※懇親会
	20:00 移動・宿舎へ

※希望参加

六、内 容

〈第一日目〉

1 開会式 開会の辞・国歌斉唱・会長挨拶・歓迎挨拶

2 記念講演 演題 「教育の今と明日的課題
——新たな道徳教育学を目指して——」

講師 麗澤大学大学院特任教授 高橋橋中史朗 先生

3 実践発表Ⅰ ①小学校 「道徳教育でポジティブ生徒指導」

伊賀市立府中小学校教諭 溝口折口士心 先生

②中学校 「神道教育の可能性——ころづくりの時間として——」

浪速中学校高等学校教諭 松尾大輔 先生

4 講 評 日本教師会副会長 皇學館大学准教授 渡邊 毅 先生

5 総 会 「平成三十年度事業・会計報告、令和元年度事業計画・予算案、役員人事」

〈第二日目〉

6 特別講演 演題 「教育現場で大切なこと
——踏み込む勇氣と場を察知する対応力——」

講師 阪南大学流通学部教授 平山 弘 先生

7 実践発表Ⅱ ③高等学校 「教師及び国語教師の責務」

岐阜済美高等学校常勤講師 渡邊 威 先生

8 総 括 日本教師会会長 京都産業大学名誉教授 若石井勲夫 先生

9 閉会式 次期開催地代表挨拶・閉会挨拶・教師会の歌斉唱

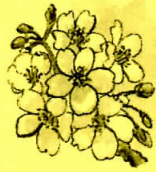
日本教師会のうた

荒川久寿男 作詞
安西 愛子 作曲

一、波青く さくら咲く国
美しき 父祖のともしび
わが胸に 灯をともらせむ
日の本の 教師のちかひ
かかぐるは 教へのひかり

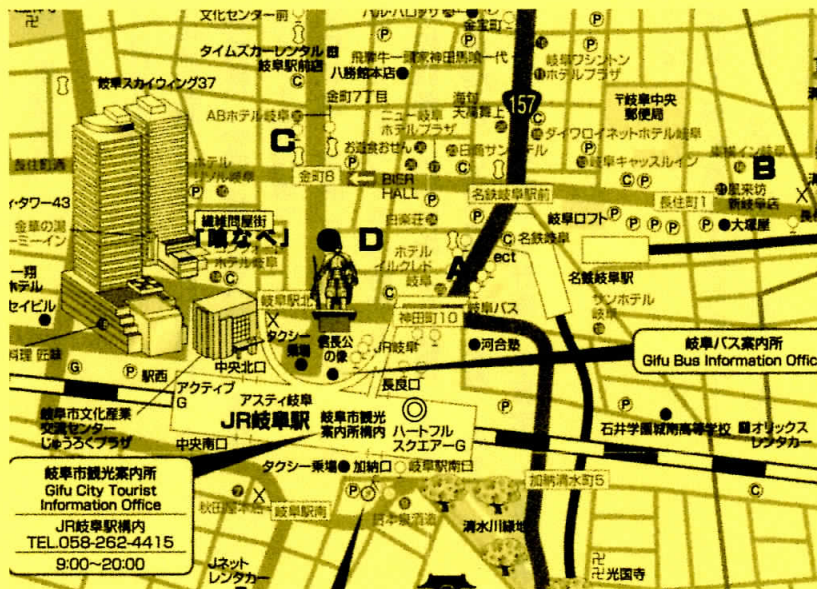
二、はるかなる 世界のうしほ
正しきを 心のかてと
ゆたかにも 子らをはぐくめ
日の本の 教師ののぞみ
かかぐるは 学びのひかり

三、花咲かば 花のこころを
雪ふらば 雪にきたへよ
いのりゆく 愛のこころは
日の本の 教師のつどひ
ひらかなむ 祖国の未来



《会場・宿舎・懇親会場の案内》

- 1 大会会場 ◎ハートフルスクエアG2階「中研修室」（岐阜駅構内）
- 2 宿 舎 A、ホテルイルクレド B、東横イン C、ABホテル
- 3 懇親会場 ●居酒屋「喰（た）なべ」 TEL058・214・8514



- ◎「ハートフルスクエアG」
岐阜駅構内にある、
岐阜市の社会教育施設。
改札口を出て東100㍎
TEL058・268・1050
- A「ホテルイルクレド」
駅から北東へ200㍎
TEL058・266・8111
- B「東横イン」
駅から北東へ700㍎
TEL058・264・1045
- C「ABホテル」
駅から西北600㍎
TEL058・262・0413
- D「喜美恵旅館」
駅から北へ200㍎
TEL058・263・0525
- 懇親会場「喰（た）なべ」
喜美恵旅館東隣